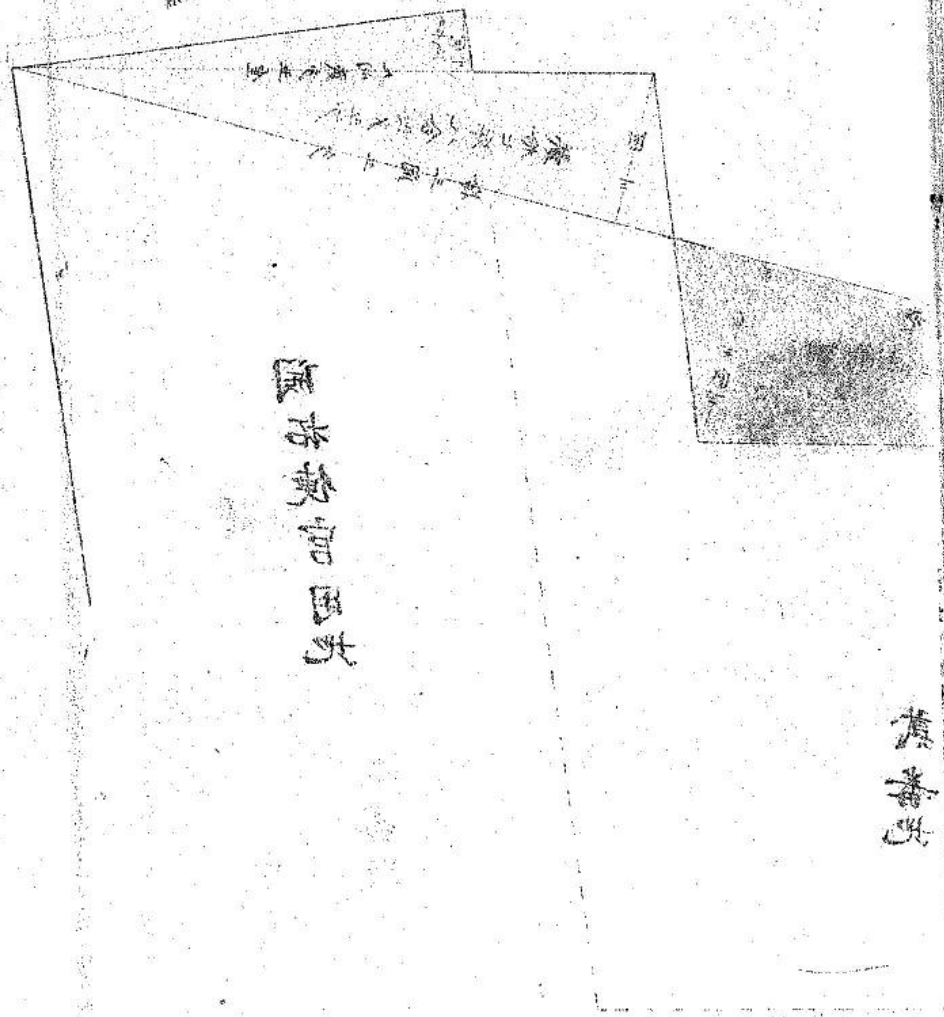


漢書

甲第拾九号

開拓長官黒田清隆



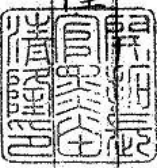
甲第拾九号

魯國派出ニ付従者召連方ノ義上請

拙者義魯領コルサコフ并ウラジオストツク港  
ハ派出之義同濟ニ付別記之者従者ニ召連申度  
候條御裁允有之度此段上請候也

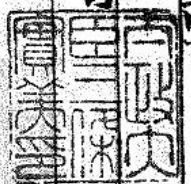
明治十一年八月八日

開拓長官黒田清隆



太政大臣三條實美殿

願ノ趣商届候事



明治十一年八月十三日

第八号

開拓使

蛭田辰五郎

開拓使

甲第貳拾号

常使權少書記官佐藤秀顯義同、上魯領ウラ  
 シオストツク港へ派遣被仰付矣。右ハ使務ノ都  
 合有之候ニ付被差止。右代トシテ別記人名ノ者  
 同港へ派遣爲致度矣。余御允可相成度此段  
 相伺候也。

開拓使官黒澤清隆代理

明治十一年八月十九日

開拓使書記官安田定則



大政大臣三條實美殿